

花きの輸送資材の規格統一を目指す本県の取組が、全国の物流効率化の優良事例として選出されました

県が進める「食品流通合理化推進事業」の一環として、昨年度、(公財)食品等持続的供給推進機構が所管する「物流生産性向上実装事業」を活用して実施した取組が、同事業における全国の優良事例として選出されましたので、お知らせします。

記

1 事業主体

新潟花き中継拠点化検討協議会
(代表：株式会社新花（新潟市江南区）)

2 事業内容

- 輸送作業の効率化を目指すため、通常、生産地間で規格が異なるチューリップ切り花用資材（段ボール）について、各生産地が同一規格の資材を使用して出荷
- その後、生産地と出荷先の中継地点において、荷下ろしや積み替えなどを行い、作業効率化の状況を検証
(令和 8 年 1～2 月の間に同様の取組を計 5 回実施)

3 主な成果

中継地点における作業時間が、これまでの 1 時間から 50 分程度に短縮

4 その他

事業の詳細は、別紙及び(公財)食品等持続的供給推進機構HPをご参照下さい。
<https://www.ofsi.or.jp/logi-suisin/casestudy/>

【本件に関するお問い合わせ】

食品・流通課 課長補佐 臼井、流通指導係長 渡邊
(直通) 025-280-5743 (内線) 2951

【新潟花き中継拠点化検討協議会に関するお問い合わせ】

株式会社新花 代表取締役 玉木
(代表) 025-257-6900